

事業所名

社会福祉法人若菜 せらの里（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

10日

法人（事業所）理念		「人の役に立つ」ということを通して利用者・職員が共に成長すること。						
支援方針		1人ひとりの状況、特性を把握し、子どもたちが自ら気付き、意欲的に活動ができるように環境整備を整え、人や場所が変わっても力が発揮できるよう「自立支援」を大切にしています。子どもの得意なことや興味関心のあるものを活かし、段階を踏みながら出来たことをしっかり認め褒め、自己肯定感を高める支援を大切にしています。ご家族子育て支援や子どもを取り巻く関係機関との連携を行い、地域皆で支援する支援体制づくりを大切にしています。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握 ○トイレ・手洗いの仕方を絵カードでの視覚提示 ○基本的な生活スキルの習得						
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ○サーキットの実施 ○遊びや活動を通して、様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う						
	認知・行動	○絵本や制作を通して季節を感じる ○制作活動により、数の大きさや色・形などの感覚を養う ○「終わり」のルールを理解も含め、タイムタイマーの取り入れ						
	言語 コミュニケーション	○遊びや活動を通して多くの言葉に触れる ○自分の思いが伝わる経験ができるような支援 ○指差し・身振り・要求ボード等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるような支援						
	人間関係 社会性	○遊びや活動を通して、人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する ○遊びの中で、大人が介入して関わりながら他者との関りの経験をつむ ○スケジュールの変更や交代・中止などを提示して対応する						
家族支援		○家族からの相談や悩みに対しての助言・面談			移行支援	○保育所や幼稚園・学校などへの情報共有・提供 ○移行支援会議への参加		
地域支援・地域連携		○関係する保育所・学校・関係機関などの情報連携や調整・支援方法や環境整備などに関する相談援助などの取り組み			職員の質の向上	○事業所内（所外）研修など		
主な行事等		○毎月第2土曜日に、子育てサークルを実施。親子の触れ合い遊び後、職員を交えて保護者とお話し会をしている。 ○季節に合わせた活動も実施。（夏の水遊び・秋の落ち葉拾い・冬の雪遊びなど）						